

もも組のこどもかいの劇への取り組み

2学期後半から、『もりのおふろ』や『もりのおふとん』『おおきながぶ』などのストーリーに沿って、お話ごっこをして遊んできました。お話に出てくる動物や好きな動物になって、動きや鳴き声を自分なりに表現することも楽しんでいました。また、“お風呂”や“大きなかぶ”などお話ごっこに必要な物を、みんなで準備しました。

3学期になってから、『どうぞのいす』のお話ごっこをすると、「椅子がいるんじゃない」「どんぐりは?」など、必要な物に気付いていました。今回は、“必要な物”を準備している様子をお伝えしたいと思います。

絵本のお話には出てきませんが、もも組の『どうぞのいす』では、リンゴを椅子に置く動物が登場することになり、リンゴを作っています。紙を丸めカラーポリで包んでいます。できあがったら、さっそく遊んでいます。



リンゴの木を、折り紙を貼って作りました。黄緑の折り紙を用意していましたが、子どもが「緑も合った方がいいんじゃない」と折り紙コーナーから持ってきて貼っていました。

いすと看板は絵の具を塗りました。看板の字は「虹色にしよう」と友達が言った言葉を受け入れて、クレパスで丁寧に塗っていました。



「どんぐりは、どこにあることにしようか?」と子どもたちに聞くと、「木から落ちてくるのは?」と言っていましたが、「それは難しいかも…」と伝えると、「じゃあ、落ち葉の上でしょ」という案が出て、そうすることになりました。子どもたちがイメージしたことを実現してあげたい、と思っているのですが、私の力が及ばず…。でも、子どもたちは新しい案を考えてくれました。落ち葉は、画用紙を半分に折って半月に切って作りました。

子ども会に向けて、少しずつみんなで準備を進めています。学級では、子どもたちが「きく組さんに、どうぞのいす見せてあげたい」と話しています。必要な物ができあがると、きく組さんに見せに行ってします。「何に使うの?」と聞いても、「内緒♡」と言っているそうです。(きく組担任談) 誰かに見せたい、でも楽しみにしてほしい、という気持ちが伝わってきました。